

大塚九二生 おつか くにき 歌人。明治三十一年一月二十日大分縣大野郡大飼町生れ、昭和二十六年七月二十八日歿（八六―一九六）。大正十一年長崎醫學専門学校卒。在學中、教授齋藤茂吉の師事して「アララギ」に入會。十五年渡鮮、京城醫學専門学校生理學教授となる。その歌集の序文を書いた近藤芳美の據れば、朝鮮在留歌人の指導者の一人であったといふ。引揚げ後は大分縣教育廳等に勤務。

『大塚九二生歌集』（昭和二十八年五月二十八日白王書房）刊。

